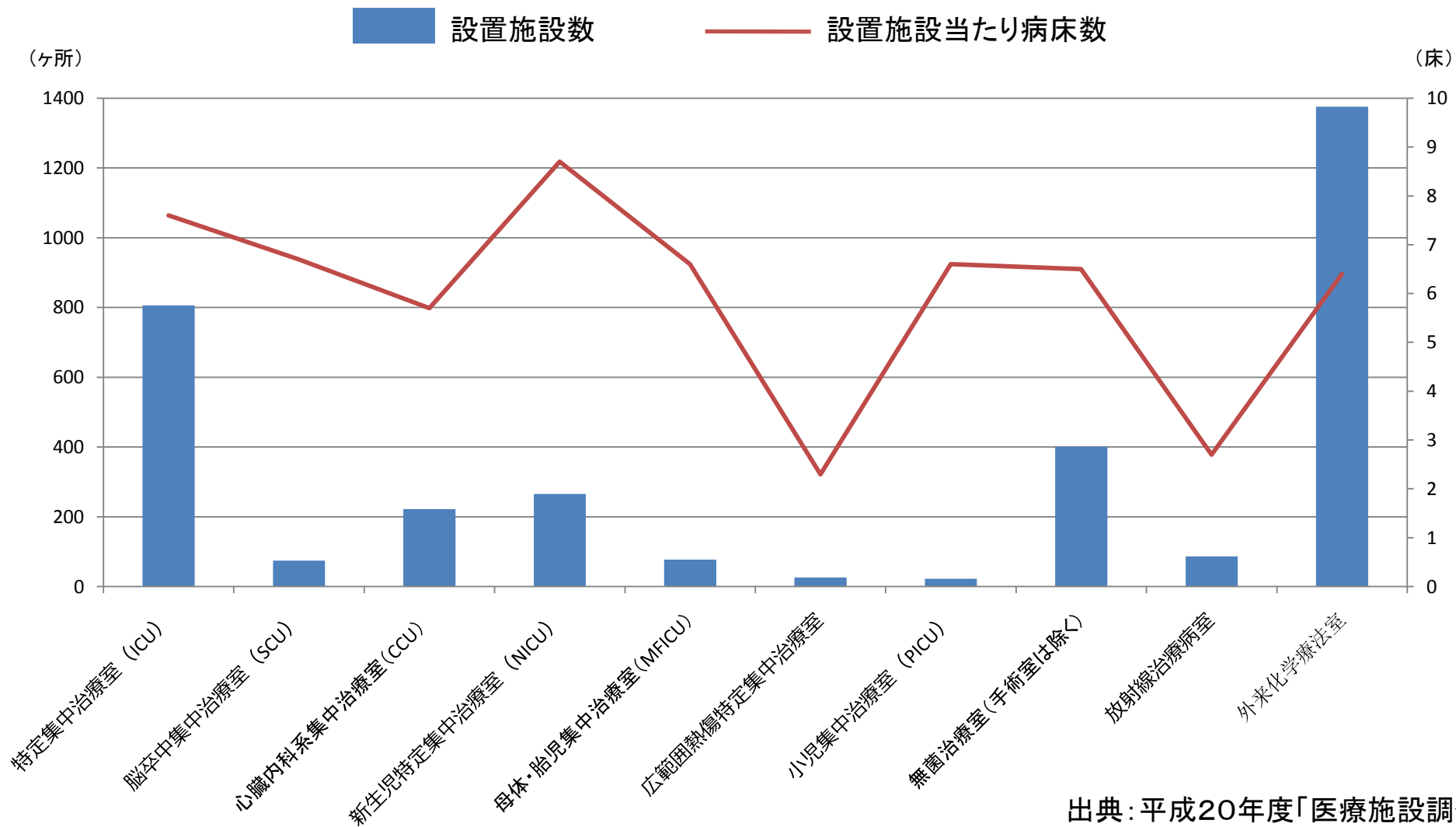


病院の特殊診療設備の保有状況

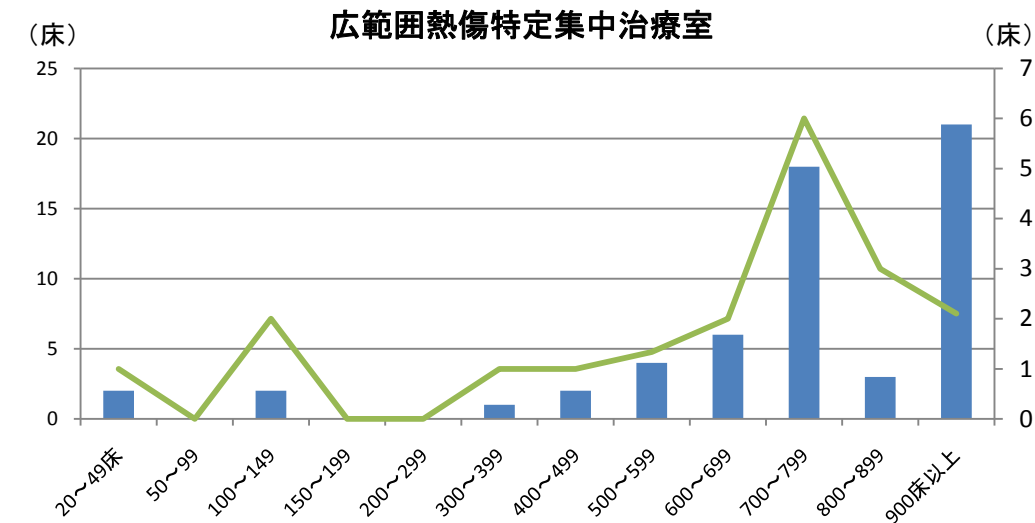
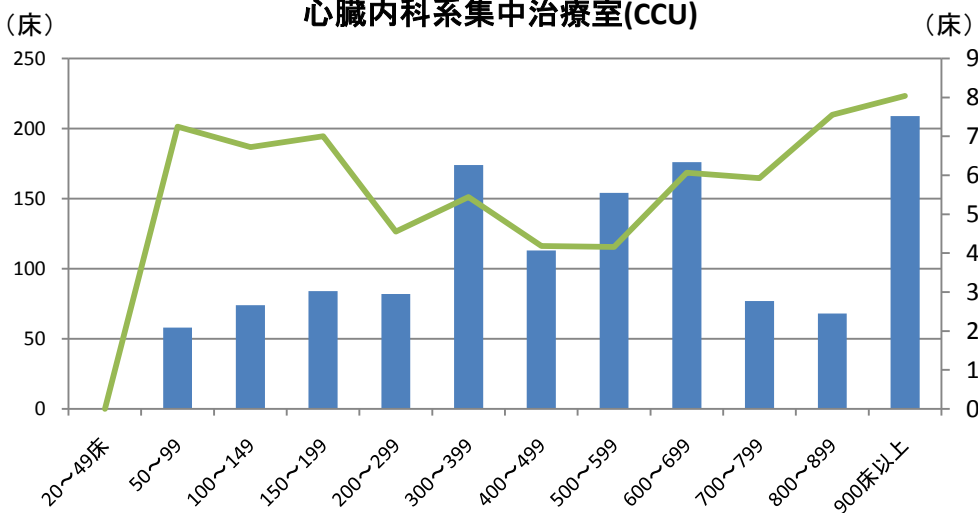
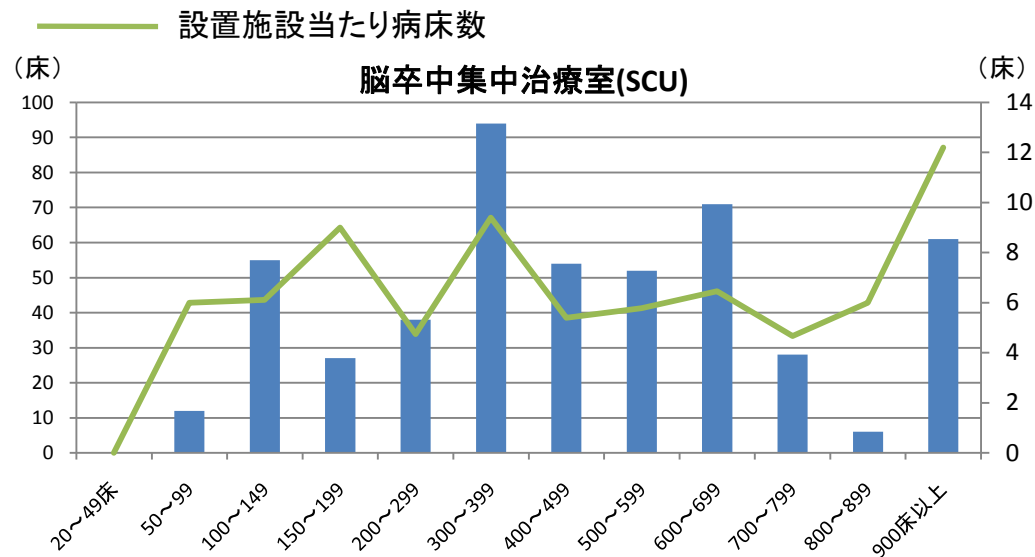
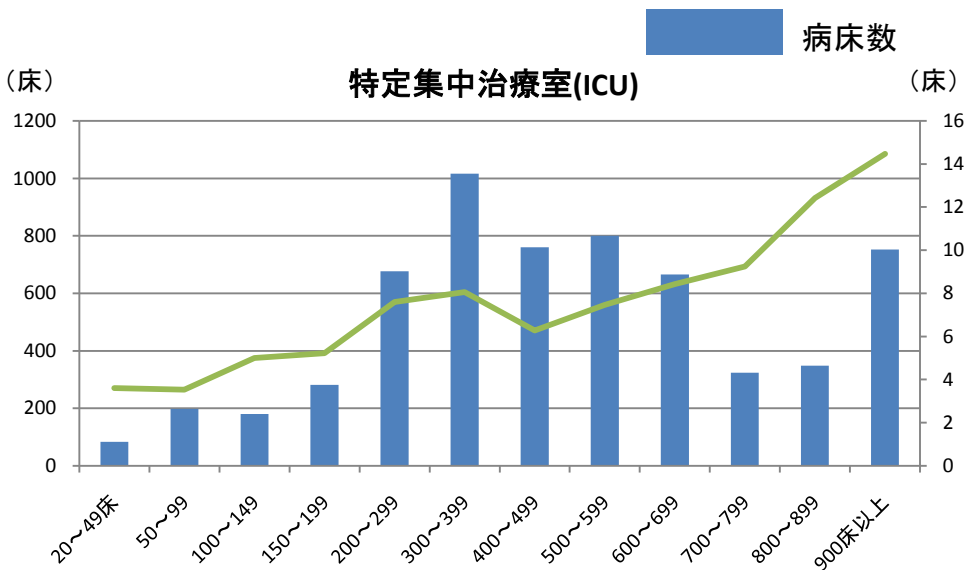
○ 特定集中治療室(ICU)、新生児特定集中治療室(NICU)、小児集中治療室(PICU)といった特殊診療設備は、単純平均すれば、概ね6~9床で運営されている。



出典：平成20年度「医療施設調査」

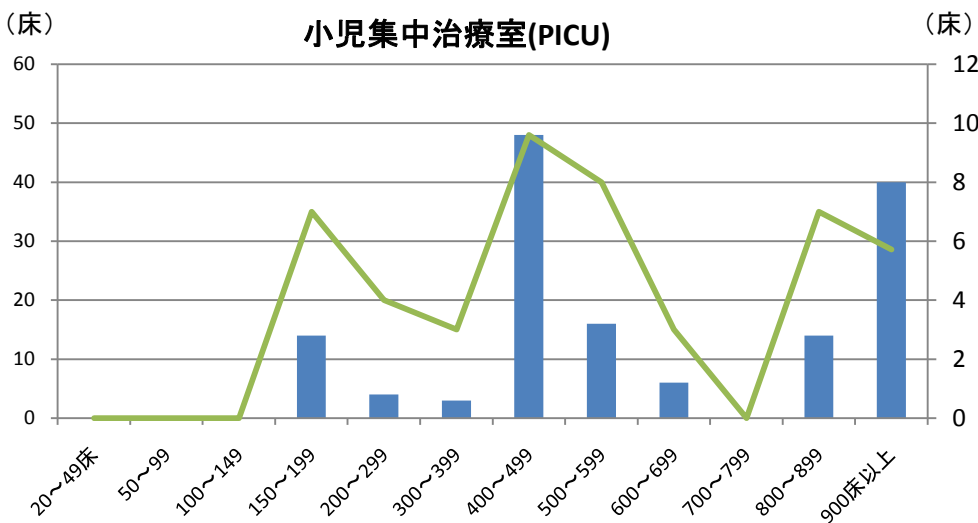
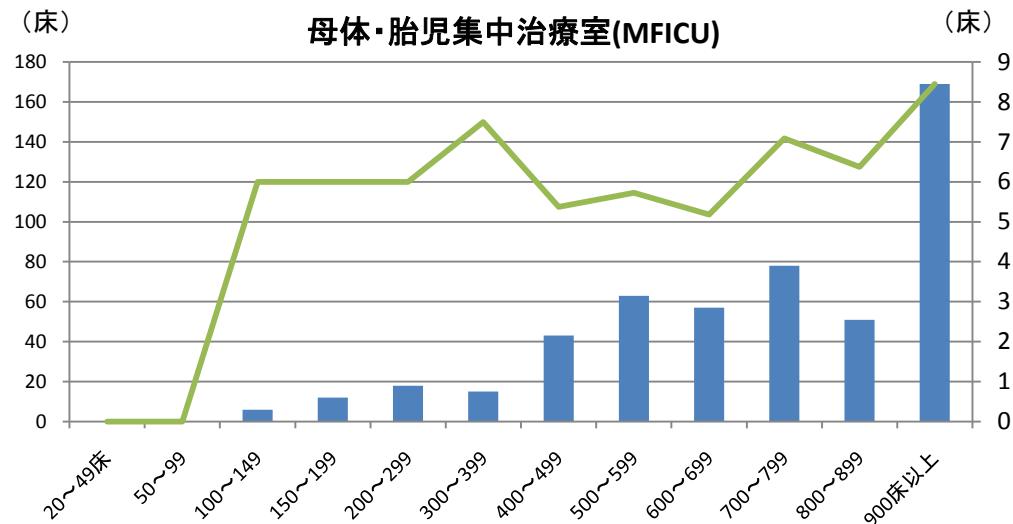
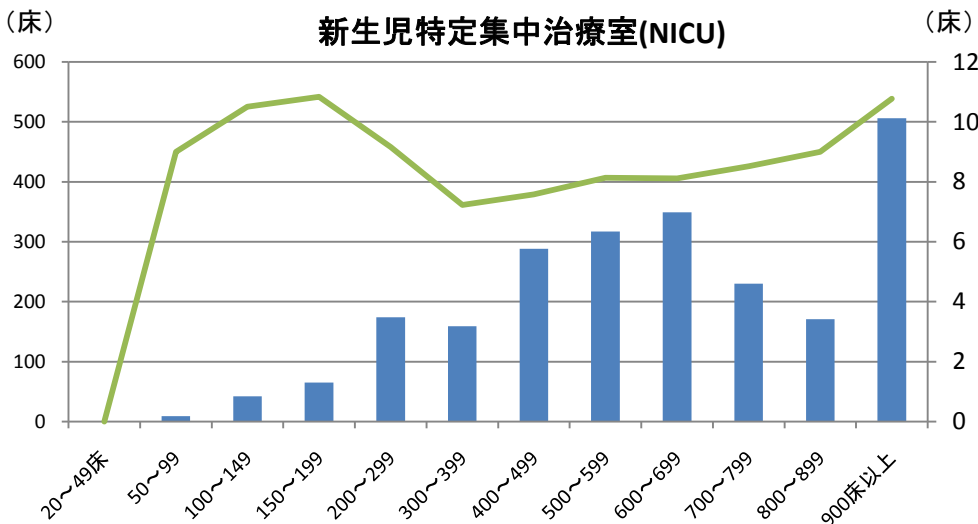
特殊診療設備の病床規模別保有状況①

- 特定集中治療室(ICU)の設置施設当たり病床数は、平均7床前後で、設置病院の病床規模にほぼ比例している。
- 脳卒中集中治療室(SCU)や心臓内科系集中治療室(CCU)については、設置病院の病床規模に対して、設置施設当たり病床数にややばらつきがある。



特殊診療設備の病床規模別保有状況②

○ 新生児特定集中治療室(NICU)は概ね8~10床で運営しており、母体、胎児集中治療室(MFICU)は概ね5~7床で運営している。

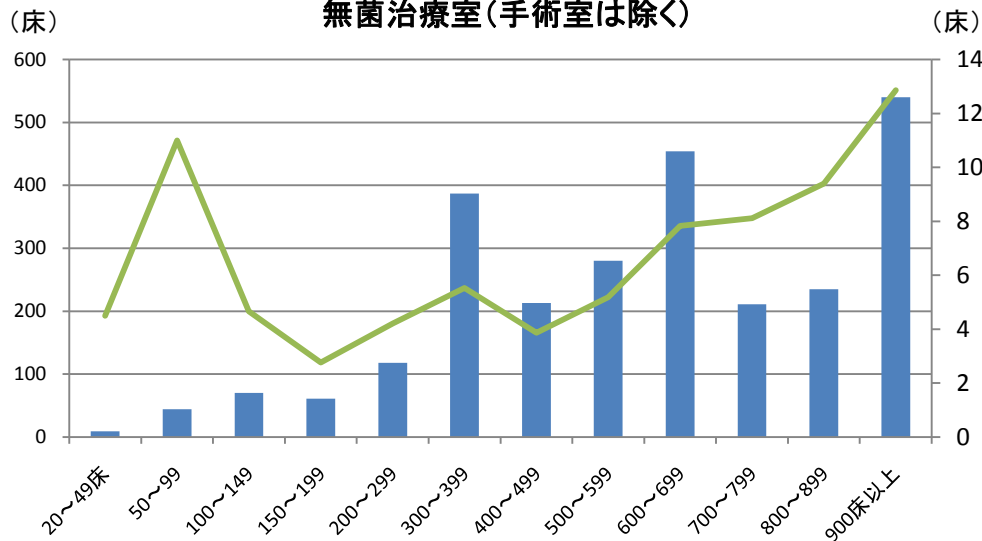


出典:平成20年度「医療施設調査」

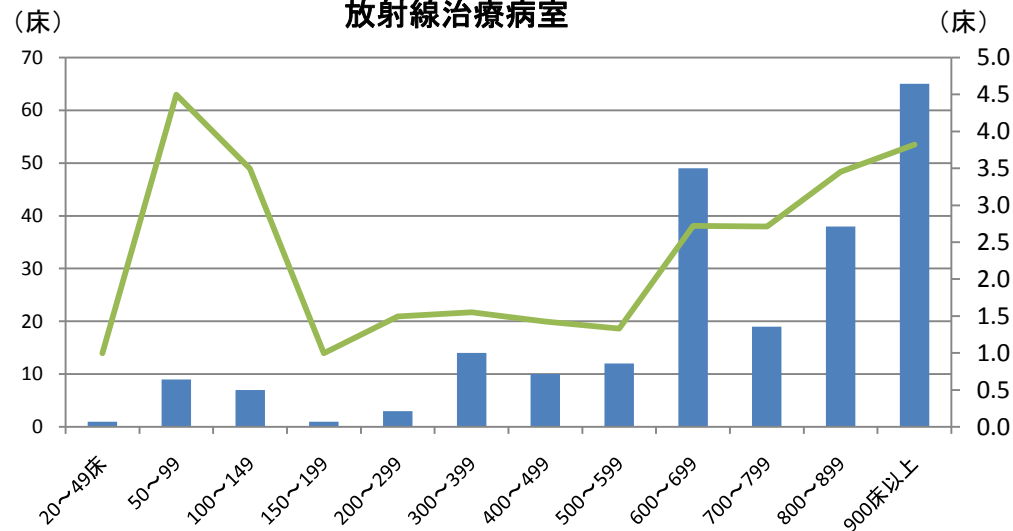
特殊診療設備の病床規模別保有状況③

○ 外来化学療法室は、設置施設当たり病床数が設置病院の病床規模とほぼ比例しているが、無菌治療室(手術室は除く)や放射線治療病室にはそのような傾向はみられない。

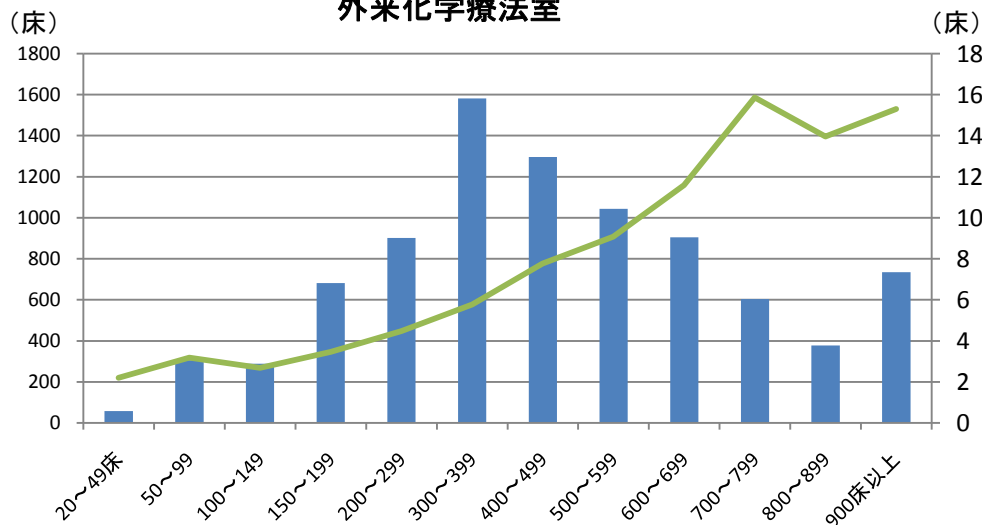
無菌治療室(手術室は除く)



放射線治療病室



外来化学療法室



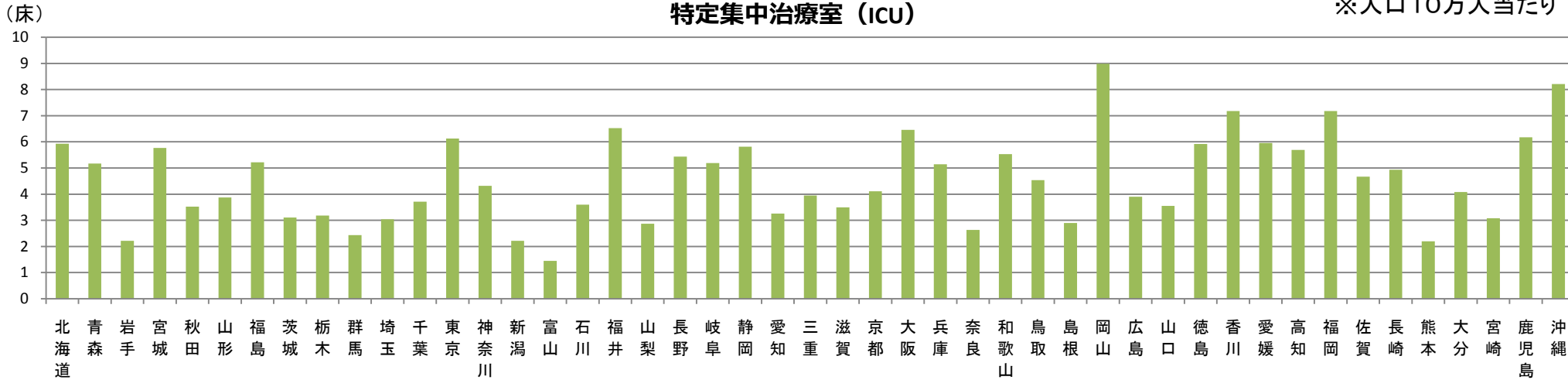
出典:平成20年度「医療施設調査」

特殊診療設備の都道府県別病床数①

- 特定集中治療室(ICU)の人口10万人当たり病床数は4.8床。都道府県別にみると、最多は岡山県(9.0床)、最少は富山県(1.5床)。
- 脳卒中集中治療室(SCU)の人口10万人当たり病床数は0.4床。都道府県別にみると、最多は長野県(2.3床)。

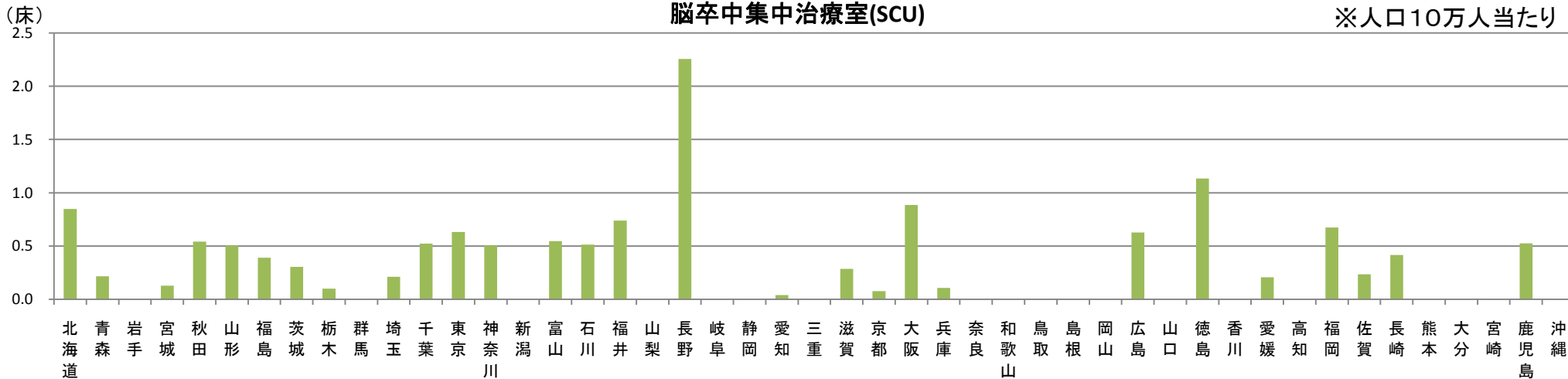
特定集中治療室 (ICU)

※人口10万人当たり



脳卒中集中治療室(SCU)

※人口10万人当たり



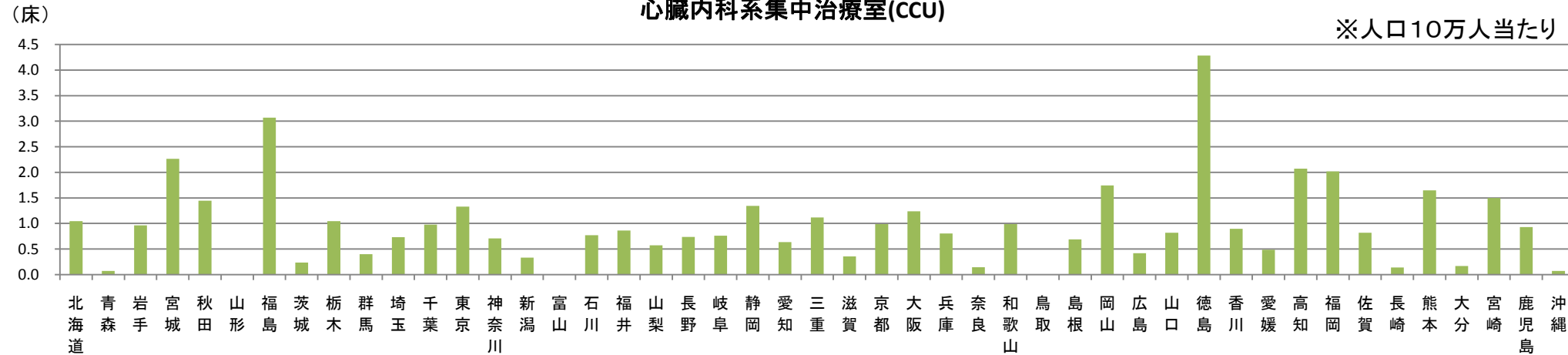
出典：平成20年度「医療施設調査」(平成20年10月1日現在)
統計局「人口推計」(平成20年10月1日現在)

特殊診療設備の都道府県別病床数②

- 心臓内科系集中治療室(CCU)の人口10万人当たり病床数は1.0床。都道府県別にみると、最多は徳島県(4.3床)。山形県、富山県、鳥取県は病床を持たない。
- 広範囲熱傷特定集中治療室の人口10万人当たり病床数は0.05床。地方ごとに、特定の病院に機能が集積されていることがうかがえる。

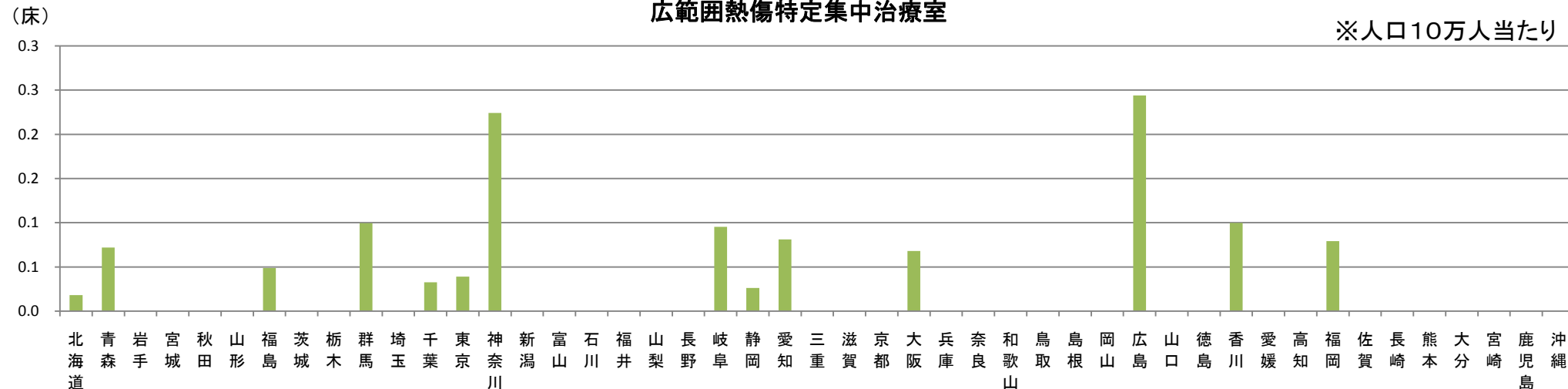
心臓内科系集中治療室(CCU)

※人口10万人当たり



広範囲熱傷特定集中治療室

※人口10万人当たり



出典:平成20年度「医療施設調査」(平成20年10月1日現在)
統計局「人口推計」(平成20年10月1日現在)

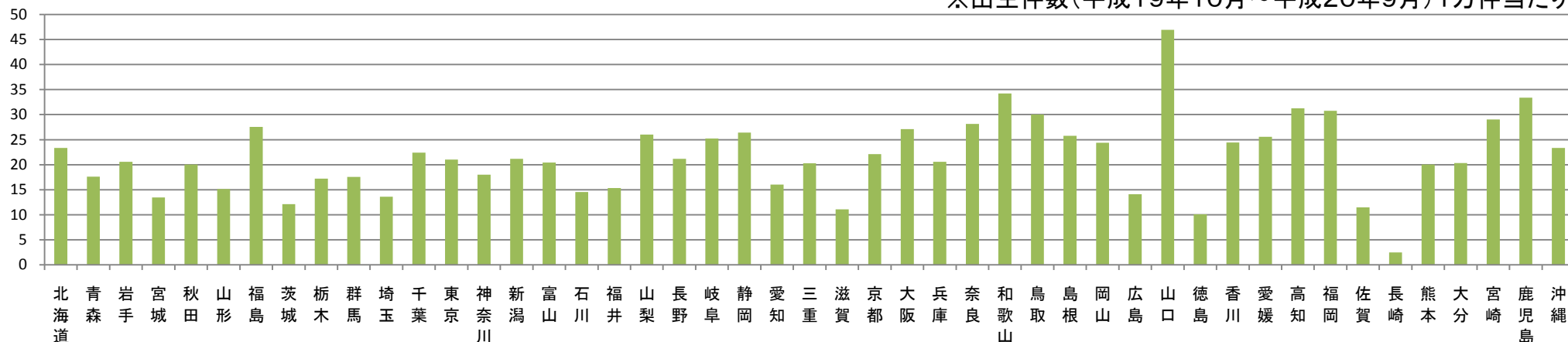
特殊診療設備の都道府県別病床数③

- 新生児特定集中治療室(NICU)の出生件数1万件当たり病床数は21.1床。都道府県別にみると、最多は山口県(46.9床)、最少は長崎県(2.5床)。
- 母体・胎児集中治療室(MFICU)の出生件数1万件当たり病床数は4.7床。都道府県別にみると、最多は香川県(14.0床)。山形県、富山県、佐賀県、長崎県は病床を持たない。

新生児特定集中治療室(NICU)

※出生件数(平成19年10月～平成20年9月)1万件当たり

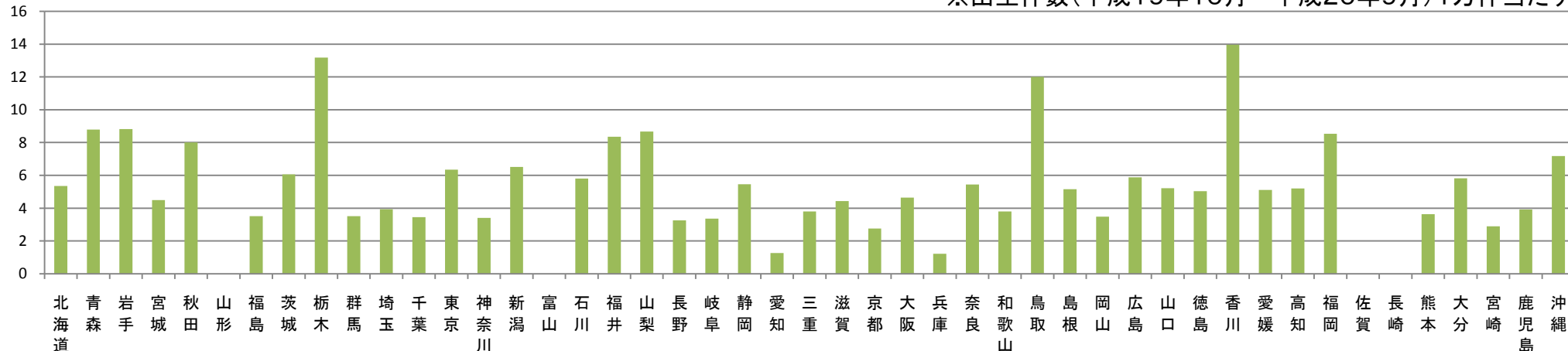
(床)



母体・胎児集中治療室(MFICU)

※出生件数(平成19年10月～平成20年9月)1万件当たり

(床)



出典:平成20年度「医療施設調査」(平成20年10月1日現在)
統計局「人口推計」(平成20年10月1日現在)